

《知的障害のある人の社会的トラブル：解決法》

全国養護学校等実態調査報告会 これからトラブルが起きたらどうすればいいか？

趣旨 私たち学校K-pro研究班では、子どもたちが安全で豊かな生活を送るために親や教員、支援者が行う社会

的アプローチについて検討を続けてきました。2005年2月には第1回学校Kプロセミナーでは全国の養護学校等に対して行った「学校生活における社会的トラブルに関する調査」(2004年実施)をもとにトラブルの実態を参加者とともに話し合いました。

今回の第2回セミナーでは、学齢期の子どもたちが巻き込まれやすい性的トラブル、社会的逸脱行動、消費者トラブルについて取り上げます。地域で生活していればトラブルは起きるもの、トラブルが起きたときの初期対応をどうすればいいのか？ 全国でどのようなトラブルが多くあるのか？ などを報告します。また、親や学校関係者だけでなく、弁護士や司法書士の皆さんにご協力いただきながら、具体的な事例を取り上げ、解決方法や今後の学校が取り組む実践的課題を出し合います。学校関係の方々、どうぞご参加くださいますようお願いいたします。

主催 厚生科学研究「発達障害者支援における地域啓発プログラムの開発」(主任；堀江まゆみ)
分担研究班「学齢期の発達障害児者における社会的トラブル支援」

日時 2006年6月11日(日曜日) 10:00~17:00

会場 法政大学ポアソナードタワー 26階スカイホール 千代田区富士見2丁目
JR市ヶ谷駅、飯田橋駅から徒歩10分(地図参照)

プログラム・内容

9:30 開場・受付

10:00 **研究会趣旨説明および「全国養護学校調査から見えてきたこと」** 堀江まゆみ(白梅学園短大)

11:00 **基調講演「知的障害・発達障害児者の社会的トラブル-解決に向けて」** 佐藤彰一(法政大学法科大学院)

12:00 昼休み

13:00 **社会的トラブルの実際と解決に向けて-フロア検討会-** 各ブースごとに事例を持ち寄り参加者と一緒に検討します。それぞれ研究会の教員・弁護士・司法書士が司会・助言をします。

第1ブース 「性的トラブルをめぐる問題とその解決に向けて」 (担当；堀江まゆみ、教員)

第2ブース 「消費者・金銭トラブルをめぐる問題とその解決に向けて」 (担当；佐藤彰一、鈴木奈加子司法書士、教員)

第3ブース「社会的逸脱行動をめぐる問題とその解決に向けて」 (担当；関哉直人弁護士、教員)

15:00 「フロア検討会から見えてきたこと」-パネルディスカッション-

パネリスト 関哉直人(弁護士) 鈴木奈加子(司法書士) 平井威(養護学校教員)

コーディネーター 原智彦(養護学校教員)

16:40 まとめにかえて

17:00 終了

対象 教員、保護者、コーディネーター、施設職員、教育関係者、消費生活センター相談員、その他

定員 150名(定員になり次第締切・お早めにお申し込みください)

お申し込み時にフロア検討会の参加希望ブース名を必ずお書きください。各ブースごと50人をめどに先着順で振りわけさせていただきます。

なお、各ブースごとに「事例検討参加者」を募ります。相談したい事例がある方で、事前に相談事例をお送りいただける方はご協力ください(守秘義務は厳守します。当日会場で事例を報告するときは、個人が特定されない方法で行います)事例をお送りいただける方は、ブースの選択を優先します。

資料代・参加費 2,000円(学校調査報告書資料込み)

資料代・参加費は当日会場で承ります。(昼食は各自、ご準備ください)

お申し込み先 必ず事前にファックスかメールでお申し込みください。

白梅学園短期大学 堀江まゆみ研究室 学校Kプロセミナー係

Eメールの場合 mayumi@shiraume.ac.jp ファックスの場合 03-3264-9988

【法政大学ポアソナード・タワーへの行き方】 法政大学の市ヶ谷キャンパスの市ヶ谷駅寄りのところにあります。市ヶ谷キャンパスで一番高いビルです。会場のスカイホールは、ポアソナード・タワーの26階です。



参加 申込書 ;

名前 ; _____
所属・職種 ; _____
連絡先住所 ; _____ (都道府県 / 市町村までで結構です)
mail・FAX ; _____

フロア検討会希望ブース ; 希望ブースに をつけてください。事例検討参加者が優先されます。

	第1ブース(性トラブル)	第2ブース(消費者被害)	第3ブース(社会的逸脱)
第一希望	()	()	()
	()事例	()事例	()事例
第二希望	()	()	()
	()事例	()事例	()事例

事例を事前に出していただける方は、該当のところに をつけてください。